



探究ニュース Access No. 26

発行日 令和5年2月28日

目次

- I 成果発表会に向けて
- II 高校生によるまちづくり提案発表会
- III 他校探究成果発表会 見学レポート
- IV 都市農地で伝統野菜～高倉大根ついに完結～

I 成果発表会に向けて

3月11日(土)、いよいよ成果発表会が開催されます。
 見学には本校生徒だけでなく、お世話になっている講師の先生方や、新入学予定の中学3年生もいらっしやいます※。
 これまでの研究成果を存分に発揮できるように準備しましょう！ ※在校生保護者の見学はご遠慮ください。

1年生 C探究 成果発表スケジュール

8:45～9:00 設営 準備(各会場)
 9:00 開会のあいさつ(放送)

【第1部ポスターセッション】(各教室)
 ※1グループ25分の中で、オーディエンスが来たときに、都度発表します。

9:20～9:45 Iグループ発表
 (II・IIIはオーディエンス)
 9:50～10:15 IIグループ発表
 (I・IIIはオーディエンス)
 10:20～10:45 IIIグループ発表
 (I・IIはオーディエンス)

【第2部 代表生徒プレゼンテーション発表】

11:05～11:20 第1発表
 11:25～11:40 第2発表
 11:45～12:00 第3発表
 ※発表8分(プロジェクト概要2分+内容6分)
 +質疑応答5分+転換2分

12:15～ 閉会のことば(放送)



2年生 C探究 成果発表スケジュール

8:45～9:00 設営 準備(各会場)
 9:00 開会のあいさつ(放送)

【第1部ポスターセッション】(各教室)
 ※1人25分の中で、オーディエンスが来たときに、都度発表します。

9:20～9:45 Iグループ発表
 (II・IIIはオーディエンス)
 9:50～10:15 IIグループ発表
 (I・IIIはオーディエンス)
 10:20～10:45 IIIグループ発表
 (I・IIはオーディエンス)

【第2部 代表生徒プレゼンテーション発表】

11:05～11:20 第1発表
 11:25～11:40 第2発表
 11:45～12:00 第3発表
 ※発表8分(概要1分+内容7分)
 +質疑応答5分+転換2分

12:15～ 閉会のことば(放送)



今年の論文集の副題
ヒガシのLegacy

「考案者からのことば」
 「Legacy」とは、遺産という意味
 です。この論文が私たちの遺産とな
 りたいと思います。

II 高校生によるまちづくり提案発表会

2月12日(日)に八王子市主催で生涯学習センター(クリエイトホール)にて開催されました。参加校は本校、翔陽高校、八王子北高校、富士森高校、南多摩中等教育学校の5校。本校からは1年生の地域まちづくり活性化プロジェクトの9チーム(ポスター発表7チーム、口頭発表2チーム)が参加しました。



緊張のポスターセッション。繰り返すうちに、話し方のコツをつかんでいきました。



八王子市から各班に感謝状が贈呈されました。

- とても緊張したが、自分にはないアイデアや考え方を深めることができた。この経験を活かしてこれからの成果発表会に臨みたい。
- 他校も含め、どのグループもクオリティが高く非常に驚いた。とりわけ中学生の発表は若いながら丁寧でとても感心した。
- 発表が意外と上手くいってよかった。またほかの学校の発表を見て様々な着眼点があることに気づけたので良かった。また、大学生の発表も刺激的で今後の参考にしていきたい。
- 自分が思っていなかった質問がきたので、様々な着眼点を得ることができた。
- 今まで、人の前で発表することはあまり得意ではなかったが、今回は少し楽しみながら発表できたので良かった。
- 児童館の人や大学教授など専門の大人に発表を見られる緊張感を味わえた。
- 中央大学さんの発表がとても印象に残った。どのようにしてパッションフルーツを加工して売り、若者をターゲットにできるかを考えられていてすごいと思った。
- やはり予想されぬ質問などが飛んできたので、質問への対策を更に綿密にすべきだと感じた。

Voice



司会を務めてくれた2年原さん、速水さん。さわやかな名司会！

III 他校探究成果発表会 見学レポート

2月5日(日)に開催された都立戸山高等学校の探究成果発表会、「生徒研究成果合同発表会 Toyama Science Symposium」。

この発表会では戸山高校の生徒に限らず、他県からも理系分野のゼミに所属する生徒が集まり、ポスターセッションや口頭発表が行われました。発表会を見学した、1年関谷さんの見学レポートを紹介します！

実際に見学してみて

インターネットや書籍での検索が主体ではなく、自ら現地へ赴いたり、資料をそろえて実験をしたりすることによる研究が多かったことが印象的でした。それが成功につながった例も、失敗となってしまった例もありましたが、改善し実験を繰り返すプロセスが根付いていることがよくわかり、内容の濃い研究が多くみられました。また、聞き手の質問にも非常に丁寧に対応していて、その受け答えの中で互いが新たな気づきを得ていたことが印象に残りました。私も数回質問をさせていただきましたが、単純な回答だけでなく、一歩踏み込んだ内容についてお話を聞かせていただくこともあったので、有意義な時間を過ごすことができました。



ここで、私が興味を持った研究を二つほど紹介させていただきます。

1つ目は『生分解性プラスチックの研究について』です。海洋プラスチックの問題を原点に、どの土が生分解性プラスチックを最も速く分解できるかについて実際の畑の土などを用いて実験を行っていました。2つ目は『アルギン酸で作る手袋について』の研究です。アルギン酸はCaイオンを加えることでゲル化する物質で、この特徴を用いて手袋を作り、ビニール手袋の削減を可能にできるかということを題材に実験を行っていました。

興味をもったこと

どちらも現在世界で起きている環境問題についての題材で、新たな可能性を知ることができました。

全体を通して、研究のレベルの高さを痛感しました。3月の探究成果発表会に向けて、スライドの修正や原稿の作成をしっかりと行っていき、よりレベルの高い発表にできるようにしていきたいです。

IV 都市農地で伝統野菜～高倉大根ついに完結～

伝統野菜・高倉大根の栽培を9月10日から始め、それからおよそ半年が経ち…生物・食・文化・歴史…幅広いテーマに関わりながら大根を育ててきたチームだいこんずの皆さん。1月31日(火)には試食&持ち帰り会を開催し、いよいよ感動のフィナーレを迎えました！持ち帰ってチャーハンや炒め物など、伝統の味を味わえてよかったですね！



さきもとくあんの梅あえと、たくあんと豚肉入りのきんぴらごぼうです。たくあんのシャキシャキした食感があって、美味しかったです！

